

事務事業名	例規集・法令関連図書管理事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	総務部		単位番号	3010																													
			所属課室	総務課		課長名	中込 修																													
			所属担当	文書法制担当		担当者名	石川 珠美																													
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
政 策		01	行財政改革の推進		事業区分	01	一般	02	01	02	020	03																								
施策		02	行政改革の推進																																	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度（ 年度）		法令根拠		事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込） <table> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>2,550</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>2,550</td> </tr> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	消耗品費	2,550																	計	2,550
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																																	
消耗品費	2,550																																			
		計	2,550																																	
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 例規集及び関係図書の管理、購入及び追録 ・例規集については年度当初追録単価契約し、年2回の追録を実施 関係図書については契約会社との打合せにより実施・参考図書の購入 * 追録(例規集70冊、市町村事務要覧他23冊)																																			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	例規集・法令関連図書管理事業
25年度活動予定	例規集・法令関連図書管理事業
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
例規集等関係図書	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
適切に管理することによる適正で確実な事務の執行	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
職員の事務能力の向上	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 例規集 イ 追録図書 ウ 購入図書	冊 冊 冊
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 議員数 イ 職員数 ウ	人 人
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 満足とした議員数 イ 満足とした職員数 ウ	% %
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 満足とした議員数 イ	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	2,718	2,550	1,909	1,909	1,909	1,909		
	人件費	事業費計 (A)		千円	2,718	2,550	1,909	1,909	1,909	1,909		0
		正規職員従事人数		人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間		時間	120	105	100	100	100	100		
		人件費計 (B)		千円	475	416	396	396	396	396		0
		(A)+(B)		千円	3,193	2,966	2,305	2,305	2,305	2,305		0
活動指標	ア イ ウ	冊		冊	250.0	60.0	57.0	57.0	57.0	57.0		
				冊	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0		
				冊	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		
対象指標	ア イ ウ	人		人								
				人								
成果指標	ア イ ウ	%		%								
				%								
上位成果指標	ア イ	%		%								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併前(昭和40年代例規集が整備されたことによる)から各町村行っており、合併後も引き続き行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	地方分権の時代と言われ、自主性を高めることが求められ自らの責任と判断により政策を実施している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	要綱集の追録は、H20年度に廃止。H21年度に例規集の追録・廃止の検討を行う。 23年度から例規集の追録数を議員等議会出席者他で70冊とする。24年度においてもその数で追録を行う。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	例規集・法令関連図書管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市で行う事務事業の基礎となっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市としての基本的役割である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 例規集追録については、例規データベース事業も行っているため、紙ベースのこの事業については議会対応のため平衡して行うこととなっている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 年2回の追録により例規集の更新を行っている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 上記事業との統合の検討をしたが、例規集においては当分の間議会対応のため冊子の追録も行うこととなっている。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 例規集は、議会出席者に必要なため。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 例規集は、議会出席者に必要なため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 本市の例規に携わった業者との単価契約であり、例規集の冊数の見直しを行うことで事業費の削減につながる可能性がある。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 追録冊数を減らすことにより事業費の削減につながる可能性があり、それに伴い追録関係に携わる職員の事務量も減る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の事務事業の基盤となるもので公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	市の例規はホームページ等Web上でも閲覧できる状態にはあるが、その利用ができない場合や議会対応などに冊子としての例規集が必要となることから、当面の間は追録を行っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					